



第736号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

4月27日(木) 13:30~15:30 第9回 検数労連23春闘交渉 職場の不満の声を受け止め、両協会に対し ふたたび再考を求める。



《全日検》

昨日、中央港湾団交が仮合意となり一定の目途がついた。

検数労連23春闘交渉では、前回の交渉で有額回答を提示したが、労組から『要求額との関係では不満』という主張を受け、再度持ち帰り検討をした。しかしながら、現回答はこれまで説明してきた通り収支状況が悪化している厳しい状況下で諸要求も含め、判断した回答であり、これ以上の修正回答は困難である。

労組においては、現回答をもって収拾に向けた判断をお願いしたい。

《日検協会》

前々回の交渉で有額回答を提示してから今交渉までの間、労組からは度重なる修正回答を求められ、都度、様々な角度から再考してきた。しかしながら、現回答は協会を取り巻く現状の中で諸要求も含め検討に検討を重ねた結果の回答であり、現回答を修正することは困難である。よって、労組においては現回答をもって収拾に向けた判断をお願いしたい。

4月27日(木) 第9回検数労連23春闘交渉で、組合は両協会から修正回答の提示と諸要求の回答の提示を求め、交渉を行いました。

《組合主張》

組合は、両協会から修正要求に対する回答と、諸要求部分の回答を受け、休憩を挟み検討した結果、次の通りの主張を行い再度ゴールデンウィーク明けまで、修正回答に向けて再考するよう両協会に求めました。

昨日の中央港湾団交では、労使間で大筋合意に至ったものの、組合は『荷主・ユーザーに対する適正料金の収受がきちんと行われているのか』を検証する期間として概ね一ヶ月の休会を宣言している。検数労連としてもこのような経過を受け、現回答をもって判断することは出来ない。いま一度、修正に向けた検討を求める。また、特に強調する部分として、次の点を主張する。



《両協会に対して》

- ①賃金引上げについては、優秀な人員の採用や離職防止の点からでも極めて重要な部分であることを強調する。
- ②全国の職場から多くの不満を受け止めたうえで、改めて諸物価高騰に対抗できる賃金の引き上げを強く求める。
- ③引き続き、得意先への料金折衝等の取り組みを強化すること。

次回交渉5月9日(火) 13:30~
第10回検数労連
23春闘交渉。
もう一押し
がんばろう！

